

第1部 生命の科学

第1章— 01 ヒトの生命現象 ④タンパク質と遺伝子1 <教科書 p.14~17>

①体をつくるタンパク質

●タンパク質

- ・(①) … ヒトの(①) は、約 10 万種類あるといわれており、鎖状につながった多数の(②) で構成されている。(①) を構成する(②) は(③) 種類あり、(②) の数と(④) は、(①) ごとに決まっている。

●タンパク質の分解と吸収

- ・タンパク質は下記の流れによって、分解吸収される。
 (i) 食べ物をかみくだく。→ (ii) (⑤) によってさらに分解。→ (iii) 最終的に(②)にまで分解し、吸収される。(②) は、新たなタンパク質を合成する時の材料になる。

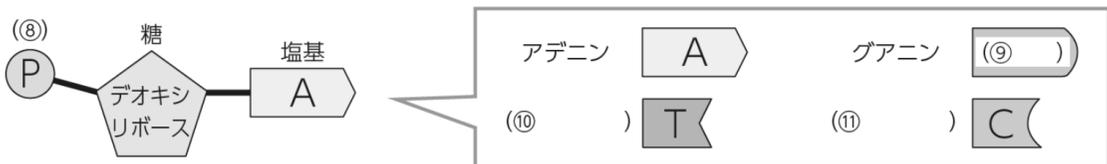
●タンパク質の合成

- ・タンパク質のアミノ酸配列を決めるのは(⑥) である。

②遺伝子とDNA

●DNAの構成単位

- ・DNA… (⑦) が鎖状に連結した分子である。(⑦) とは、糖に(⑧) と塩基が結合した化合物である。塩基は4種類ある。



●DNAの二重らせん構造

- ・DNA は(⑫) 構造をしていて、らせんの(⑬) 側は、ヌクレオチドの(⑭) とリン酸が結合して長い鎖状になっている。らせんの(⑮) 側は、向かい合う(⑯) 同士が対をなしている。このような性質を(⑰) といひ、A と T、(⑨) と C が必ず対になる。

●ゲノム

- ・(⑱) … ある生物の生殖細胞がもつ染色体 1 セットの全遺伝情報。(⑱) の本体は DNA である。

年 月 日	年 組 番		氏 名
	班		